

平成30年度 授業改善シート

佐伯市立

学校

評価	十分満足	満足	概ね満足
レベル	S	A	B

No	項目	評価規準		評価1	評価2	所見
		教師の取組(output)	児童・生徒の姿(outcome)			
1	主眼と評価規準	主眼が3つの視点(学習内容・学習活動・資質・能力)から構造化されており、評価規準との整合性がある。	<input type="checkbox"/> 本時で「学ぶべき内容」が児童・生徒に伝わっており、新たな力を身に付けようとしている。			
2	板書の構造化	思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書になっている。	<input type="checkbox"/> ていねいな字でノート整理を行い、既習内容を振り返りながら取り組んでいる。			
3	問題解決的な展開	単元構想に基づいた問題解決的な展開の授業になっている。 (課題→見通し→自力解決→交流→まとめ・振り返りが位置づけられている)	<input type="checkbox"/> 課題を自らのものとして受け止め、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。			
4	習熟の程度に応じた指導	「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫がなされており、「具体的な評価規準」に基づく確かな見取りができている。	<input type="checkbox"/> 「できる」「わかる」を実感し、達成感を得ている。			
5	まとめ・振り返り	まとめ・振り返りの視点(課題に呼応したまとめ、学習した用語を使用、めあてに沿っている、次時への意欲付け)にそったまとめ、振り返りができている。	<input type="checkbox"/> 達成したことや解決したこと、残された課題を意識し、次時への意欲や関心を示すとともに、ノート等に自らの意見や考え、学んだことなどを必要な用語等を用いて書いている。			
6	教室環境	児童生徒の学びを促進する掲示物が準備されている。	<input type="checkbox"/> 単元計画や学びの足跡を参考にして本時の学習に役立てている。			

【特記事項】